

「釜山ビエンナーレ書画の帰国展」開催 軸作画を町に寄贈

サミット開催を記念して「2007釜山ビエンナーレ書画の帰国展 in 洞爺湖」主催NPO法人国際芸術文化協会が11月11日洞爺総合センターで開幕し、オープニングセレモニーが開かれました。

当日は、会場に水墨画や書など約50点を展示。

最初に三富一風氏、佐々木眞雲氏の軸作画が町に寄贈され、その後ステージでは、ピアノをバックに高尾桂さんが即興で女性を描くコラボレーションが行われ、会場から大きな拍手が送られました。

展示は、会場を移して、洞爺駅横の交流センターで、18日から30日まで開かれました。



ピアノと書画のコラボレーション

災害時の備え 洞爺湖温泉で炊き出し実習会開く

災害時の備えとして、ボランティアサークルななかまどの会（代表坂井千枝）が、緊急時の炊き出しの講習会を、11月10日洞爺湖温泉集会所で行い、約20人が参加して、ハイゼックスという非常炊き出し用の袋を使ったご飯の炊き方を学びました。

講師には、赤十字奉仕団の長谷川眞知子さんを招き、災害時の対応などについて話を聞いた後、一人ひとりがお米をハイゼックスにいれ、ご飯の炊き方を実践しました。



ハイゼックスでご飯を炊く皆さん

炊き上がったご飯は、カレーライスとして試食しましたが、参加者からは、簡単で美味しいとの声が上がっていました。

メタボリック予防の講演会 体重計測とカロリー記録を推奨

11月26日洞爺湖町が主催する「健康づくり」講演が開かれ、約60人が参加し、メタボリックシンドローム（内臓肥満型



メタボリックシンドローム予防講演会

症候群）予防について話を聞きました。

講師の管理栄養士の相馬和子先生は、メタボリックシンドロームの予防には、生活の改善が大切であることを強調。まず手始めに、朝夕の体重の計測や食べた食事のカロリーの記録などを推奨しました。それによつてまず食事の量と質を自分で加減し、減量につながることを指摘しました。

講演の後には、簡単な体操を全員で行い、適度な運動の重要性を再認識しました。

洞爺湖町食生活改善協議会と ヘルスマイトの会交流会開く



料理のあとかたづけをする皆さん

食を通じての健康づくりをめざす洞爺湖町食生活改善協議会（会長三浦敦子）とヘルスマイトの会が、合併後初めての交流会を、11月26日健康福祉センターさわやかで開き、一緒に料理作りを楽しみました。

当日は、会員約30人が参加。「ほたての炊き込みごはん」、「しょうがのあんかけ汁」、「キヤロットゼリー」の3品を作りあげ、会員同士の親睦を深めました。

まごのたまご